

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体			
がん検診受診率向上対策				中保健センター			
事業目的		事業内容		活動指標	R3	R4	R5
中区地域計画における「健(検)診受診率向上のための体制整備」をめざし、次のことに取り組む。 ○死亡原因の1位である「がん」についての正しい知識を啓発し、がんに対する理解を促すことで、がん検診受診率の向上へとつなげる。		日頃から実施している保健センターでの教室や地域での健康教育に加え、若い世代も参加しやすいように、区民フェスタでの啓発や肺がん検診、日曜乳がん検診などを実施する。また、啓発ポスターやデジタルサイネージを活用し、がん検診受診勧奨に関する情報発信をする。		啓発イベントや健康教育の実施回数	①NPOによる講演 1回 ②健康フェスタ開催中止 ③乳がん休日検診 1回 ④地域の健康教育 19回	①NPOによる講演 1回 ②区民フェスタにて実施 ③乳がん休日検診 1回 ④地域の健康教育 49回	①講演とイベント 2回 ②区民フェスタにて実施 ③乳がん休日検診 1回 ④地域の健康教育 63回
				啓発イベントや健康教育の参加人数	①29人 ②0人(開催中止のため) ③29人 ④809人(紙面啓発含まず)	①39人 ②117人(肺がん検診) ③39人 ④1483人(紙面啓発含まず)	①19人・65人 ②82人(肺がん検診) ③61人 ④1455人(紙面啓発含まず)
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	「がん」は日本人の死亡原因の第1位であり、堺市中区の死亡原因第1位でもある。 がん検診受診率を向上させることで、誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちの実現に近づけることができる。	○	NPOとの連携による講演会や健康教育実施については、企画段階から双方で内容を検討し、啓発活動を実施できた。	○	NPOと連携して事業に取り組み、日曜日に集団検診を実施することで平日では参加しにくい区民へ呼びかけることができた。また、啓発動画を作成することで、区民の都合のいい時間帯に情報を配信する機会を設けることができた。区民フェスタで肺がん検診を実施することで、多くの区民にも周知する機会を持つことができた。	○	区内で、休日にがん検診を実施している施設は少なく、事業の実施日を日曜日に設定することで、平日の事業に参加できない、がんの好発年齢である年齢層の参加が期待できる。
⑤自立発展性		総合評価					
○	区民に広く、がんについての正しい知識を普及することで、検診受診も含めた主体的な健康管理につながる。また、日曜日にがん検診を実施する施設が少なく、今後も事業の継続実施が必要である。	○	ONPOとの連携、区民フェスタ時の啓発により、幅広い年齢層の参加につながった。 ○日曜乳がん検診は電子申請での予約受付を可能にすることで前年度よりも予約人数が多く、定員を上回る申込者となった。来年度は、より多くの人数が受診できるよう調整が必要である。 ○がんに関する動画を作成し、配信する事ができたため、より多くの人に情報提供ができた。 ○がん検診を受けた方に、今後も定期的に、がん検診や特定健康診査等を受ける習慣がつくように働きかけが必要である。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
拡充 継続 見直し 廃止	区民各々が、自分自身の健康管理について関心を高められるよう、多くの人ががん検診を受ける機会を逃さないような工夫（啓発や検診が受けやすい環境づくりなど）が必要と考えられる。 令和6年度についても、啓発ができる機会を逃さず、工夫しながら啓発を行い、啓発イベント時には、個別にがん検診についての情報を提供し、受診勧奨を行う。 また、今後は日曜乳がん検診に併設し、子宮頸がん検診も実施するなど、がん検診受診の機会を増やしていく。						